

発生のしくみ

Human embryology

ユニット責任者：解剖学 教授 平田 和明

| ブロック名 | | 期間 | ブロック責任者 |
|--------|-------|-------------|--------------|
| 第1ブロック | ヒトの発生 | 6月26日～6月29日 | 東郷 建 解剖学(生物) |

1. ユニット概要・学習内容

ヒトの発生は受精によって始まる。男性生殖子である精子と女性生殖子である卵子の形成と分化から、その融合による単一細胞の接合子とよばれる受精卵から胚子期、胎児期を経て、出生までの発育・分化・成長の過程を学習する。

各器官系の発生については、それぞれの器官系ユニット（神経系・消化器系等）において学習することになる。

2. 到達目標

- 1) 生殖子（配偶子）の形成・構造および受精・着床の過程を説明できる。
- 2) 男性生殖器・女性生殖器の構造、月経周期を説明できる。
- 3) 胚子期に起こること、胎児期の発育・分化の過程を説明できる。
- 4) 鰓弓（咽頭弓）および鰓性器官の発生を説明できる。

3. 学習上の注意点

講義は事前に配布されるプリントを用いて行われる。発生学は学生諸君にとって初めて目にする難解な項目が多いので、講義前にプリントに記載されている項目について、教科書等によって確認し予習をしておくこと。さらに講義後は教科書・参考書によって復習し理解を深めるように努めることが重要である。

4. 教科書・参考書

教科書：『ラングマン人体発生学』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
参考書：

- 1) Moore 人体発生学（医歯薬出版）
（書評）ラングマンより詳しい記載がある部分がある。
- 2) ラーセン最新人体発生学（西村書店）
（書評）図が分かりやすい。

3) ネットー発生学アトラス (南江堂)

(書評) 1 ページに 1 項目が纏められ、図が多く、復習に向く。

5. 成績評価

| 評価項目 | 実施回数 | 評価割合 | 備考 |
|------|------|--------|---------------|
| 定期試験 | 1 | 90 (%) | 前期試験期間中に実施する。 |
| 授業態度 | — | 10 (%) | |

※当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

| 所属 | 役職 | 氏名 | 時間 | 場所 | 連絡先 |
|---------------|----|-------|-------------|----------------|----------|
| 解剖学 (人体構造) | 教授 | 平田 和明 | 12:30~13:30 | 医学部 5 階・解剖学講座 | 3517 (内) |
| 解剖学 (生物) | 講師 | 東郷 建 | 随時 (要事前連絡) | 医学部 6 階・解剖学研究室 | togot |

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略